

事務事業名	徳見神社管理・復旧支援事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12509									
			所属課室	文化財課		課長名	原 一									
	☐ 実施計画事業		所属担当	文化財		担当者名	沢登徳美									
基本政策	基本計画	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策	計画	25 文化づくりの推進	事業区分	01	一般	1	0	0	4	0	5	0	2	0	0	9
施策	体系	39 歴史・伝統文化の振興		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業												
				☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	南アルプス市文化財保護条例												
	☐ 期間限定複数年度 (年度)			南アルプス市文化財保存事業補助金交付要綱												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)												
	県指定文化財「徳見神社本殿」屋根の棟部損傷が著しく、それが原因で雨漏りをおこしているため、屋根修理補修工事について補助金を交付する			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
				その他の補助金 1,800												
				計 1,800												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	文化財所有者の行う「徳見神社本殿」屋根修理等事業の補助金交付
23年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
県指定文化財「徳見神社本殿」	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
地域の象徴として古来から守り伝えられてきた指定文化財を次代へ引き継ぐことが出来る	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
地域の歴史や文化を継承していく心の醸成	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 徳見神社本殿屋根修復工事	件
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 県指定文化財「徳見神社本殿」	件
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 合併後建造物が良好に維持された年数	年
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 郷土の歴史を愛する人の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円		1,800					
	事業費計 (A)		千円	0	1,800	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		2						
		延べ業務時間	時間		120						
		人件費計 (B)	千円	0	535	0	0	0	0	0	
	(A)+(B)		千円	0	2,335	0	0	0	0	0	
活動指標		アイウ	件		1.0						
		アイウ	件		1.0						
対象指標		アイウ									
		アイウ									
成果指標		アイウ	年		8.0						
		アイウ									
上位成果指標		アイ	%								
		アイ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	指定文化財の管理または復旧は多額の費用を要し所有者または保持者がその負担に堪えない場合が多い。徳見神社本殿も老朽化が著しく早急に対処したいとの要望があったため県補助金制度を活用し実施する
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	平成6年に本殿の修理・薫蒸処理を行っているが、山間部に位置し風雨にさらされていることにより、ここ2、3年痛みが激しくなっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	地域の象徴として古来から守り伝えられてきた指定文化財を次代へ引き継ぐためにも、早急な対応を要望されている

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	神社で維持管理を行っているが、老朽化が著しいため
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	穂見神社管理・復旧支援事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 地域の象徴として古来から守り伝えられてきた文化財は地域の大切な資源といえ地域文化振興の素材となりうる
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 当文化財は宗教法人の所有であるが行政として指定した以上、市民に代わり補助することへの妥当性を有する
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市内に所存する県指定文化財の中で、神社建築は当該文化財だけであるでの妥当
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 単年度事業
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 老朽化が進行するため文化財を次代へ引き継ぐことが出来なくなる ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 老朽化が進行するため文化財を次代へ引き継ぐことが出来なくなる
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 部材等可能な限り再利用をして修理した。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金申請の進達や実績報告の確認など書類上の最低限の事務が主であり削減の余地はない
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内に所存する県指定文化財の中で、神社建築は当該文化財だけであるでの妥当

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	雨漏りの修繕を行い穂見神社本殿の保護が行われた。今後も文化財の理解を得て継続的な維持、管理及び保存を進める

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	対象外																					
③		コスト削減優先度評価結果	対象外																					